

日本企業のBCM（事業継続経営）に必要な新年課題と解決の指針提起

～1R+3Rを想起して経営に取り組むべき～

令和3年1月4日

セリングビジョン株式会社

代表取締役 岡部 秀也

新年明けまして、おめでとうございます。丑年は猛牛のように荒れる市場と言われておりますが、牛歩のように着実に未来志向で対応したいものです。

本日は、当社の関係する企業ではテレワークや休暇のクライアント様もおられますが、当社は、新型コロナウイルス対策サービスをお客様に展開しておりますので、仕事始めとしております。

新年も当社は一年365日、24時間態勢でのBCM（事業継続経営）会社ですから、当社クライアント様を含め日本企業にとっても大きな正念場の年になると考え、「想定外」でも真価を発揮できますように常にリスク&クライシス

対応をするために気を引き締めて臨みます。

本日は、ビジネスとICTセキュリティの神社である神田大明神に、創業以来19年連続で参拝してまいりました。新型コロナ対策をしつつ、参拝客が比較的少ない中ですが、3密を避け急いで出かけてきました。



(神田明神正門：マスク装着しつつ)



(神田明神に3密を避けて参拝)

さて昨年は丸一年間、新型コロナウイルス(コロナ)のパンデミックが、世界経済全体に大打撃を与え、ほとんどの企業活動、国民生活が停滞しました。まさに、セリングビジョンが常に問題提起している「想定外の企業のBCM(事業継続経営)への対応の真価」が問われた未曾有の危機でありました。

新年は、コロナ対策のワクチン接種に期待がかかりますが、やはりコロナ対策にはしっかり対処しつつも、新たな時代の変化に向けて、本業を見つめ直し、事業構造を劇的に変革しなければならないでしょう。

セリングビジョンは、

1 R の合理的戦略思考(Rational thinking)のもとで、

下記の 3R を、日本企業の BCM では特に重要と考えており、企業クライアン

トとともに、機動的な企業活動の構造改革をご提案してまいります。

特にセリングビジョンは企業の収入を増やす営業マーケティング活動や、企業

人の意識改革をする幹部スタッフ研修、防災防疫対策には定評がありますの

で、ぜひ皆さま方のお役に立てれば幸いです。

1. Recycling

資源エネルギーリサイクル

2. Restoration

災害からの復興。

3. Radical change

根本的チェンジ

具体的には 1 R の Rational thinking = 合理的戦略思考の流れに沿った次の 3R の企業活動が日本の企業経営者の皆さまの BCM には必要不可欠と考えております。

合理的思考としては、国際的にはパンデミック、米中覇権争いと米国新大統領の政策転換、各国や人々の貧富の格差拡大とグローバル化の一時停止、資本主義の揺らぎ、気候変動化といった世界的諸課題を整理分析して、日本企業が本筋から外れないように、国際協調の視点から、日本の進むべき道を判断していかなければならないと思います。

1. Recycling = 再エネルギーグリーン化と原子力リサイクル

化石燃料からカーボンゼロ脱炭素化への大転換。

石炭は老朽火力を廃止、リプレイスし、IGCC など高効率化が必要。

日本政府は再生エネルギーの比率を、2050 年に今の 3 倍の 50~60% へ急増させる政策を公表。

米国は 2035 年までに電力の脱炭素化を目指す。

とくに日本は水力、太陽発電、バイオマスとともに洋上風力(2040 年に最大

4500 万 kW)、水素(2050 年までに 2000 万トン)、自動車(新車販売を 2035 頃に電動車に)、住宅(2030 年までに新築で排出量ゼロ)を政策の目玉にする。同時に脱炭素化の切り札である原子力の安全再稼働、新規小型モジュール炉の導入、原子燃料サイクルを進めていくべき。

産業界、企業も脱炭素化の新規電源開発、省エネルギーの商品、蓄電池などのサービス開発をすべき。

2.Restoration = 防災、減災、防疫

まずはコロナ対策。

コロナの収束が図られれば世界経済の再興と日本の経済再興が期待される。感染対策は当社がお役に立つマスク、消毒液などの防疫対策だけでなく、やはりワクチン開発と接種が切り札であろう。

2 月末には欧米開発のワクチンが日本にも順次、接種されてくれば、コロナのピークアウトが期待できる。

それまでは緊急事態宣言を出し人の往来や企業活動の自粛もやむを得ないだろう。コロナだけでない。

忘れていけないのは、人に感染する鳥インフルエンザへの対策である。防疫対策商品の長期備蓄はますます不可欠である。

もちろん大震災、津波、豪雨災害の防災や温暖化による熱中症、噴火などの自然災害が頻発するかも知れない。

社会インフラの老朽化による巨大ネットワークの切断

(水、電気、ガス、道路、橋、鉄道の供給停止)も国、自治体、公益企業の資金難で拍車がかかる可能性も高い。

こうした災害や社会インフラのトラブルに備え企業のレジリエンスの備えとして食糧、水、防災セット、自家発電などは一ヶ月分ほど用意したらどうだろうか。

いざという時に備えが、なければ企業経営は成り立たない。災害頻発でレジリエンスへの費用対効果は極めて高くなっている。サプライチェーンの切断にも留意すべき。

3.Radical change = 主な根本的チェンジは

DX 化と「働く仕組み改革」

世界のなかで、「失われた 30 年」の日本企業の競争力を復活するためには、産

業界でのデジタル化は緊急を要する。

DX デジタルトランスフォーメーションによる既存ビジネスの改革とともに、新たなビジネスを創造しなければならない。テレワークで、働き方改革も必要になる。日本で今年のテレワーク化の流れで、生産性が下がった人は、上がった人の3倍との残念な試算(オラクル)もある。これからは幹部やスタッフの生産性がデータで明確になる。企業内でジョブ型、あるいはプロフェッショナル型の仕事は増える。一方でスタッフの配置転換、雇用調整、早期退職転職斡旋も増える。新入社員、中途採用の機会も増え人財は明らかに流動化し、大企業も安定雇用システムは確実に低下する。公務員だけが終身雇用を保証されるだけと考えたほうがいい。

国のDXの動きもデジタル庁の創設など加速化するだろう。例えばマイナンバーカードは身分証明書にもなり、保険証、運転免許証と紐づけられ、民間金融機関の預貯金口座と紐づけすれば、課税も捕捉できる。

こうしたDXの流れに沿った新サービスにヒト、モノ、カネ、ブランド力を集中投資することが、

日本企業の生き残りのカギになると考えられる。

以上のように、

コロナを収束させ、レジリエンスを充実させ脱炭素、

DX、五輪契機インバウンドに大いに期待したいところです。

BULLの新年、日本企業の大いなるリバウンド、飛躍に向け弊社もぜひ着実に
お手伝いしたいと考えております。皆様に熱いエールをお送りさせていただきます。

以 上

<お問い合わせ>

セリングビジョン株式会社

〒105-0003

東京都港区西新橋 1-9-1 ブロドリー西新橋ビル8F

TEL : 03-5251-3101

FAX : 03-5251-6020